

日本農業気象学会2013年全国大会 一般講演プログラム

3月27日(水)A会場

時刻	座長: 林健太郎(農環研)	
9:00-9:17	A-1 メタンのタワーフラックス観測について: 真瀬水田での長期観測結果から	宮田明1・間野正美2・小野圭介1 滝本貴弘1・麓多門1・G.H. Han3 岩田拓記4・坂部綾香4・小杉緑子4 (1農環研, 2千葉大, 3Chungbuk National Univ., 4京大)
9:17-9:34	A-2 水稲群落上におけるメタンのフラックスと鉛直勾配の関係	岩田拓記1・坂部綾香1・小野圭介2 間野正美3・小杉緑子1・宮田明2 (1京大, 2農環研, 3千葉大)
9:34-9:51	A-3 水田における微気象学的なメタンフラックス測定の手法間比較	坂部綾香1・岩田拓記1・間野正美2 小野圭介3・小杉緑子1・宮田明3 (1京大, 2千葉大, 3農環研)
9:51-10:08	A-4 水田における中干し・落水がメタンフラックスに与える影響	間野正美1・小野圭介2・宮田明2 滝本貴弘2・小杉緑子3・坂部綾香3 岩田拓記3 (1千葉大, 2農環研, 3京大)

座長: 米村正一郎(農環研)

10:15-10:32	A-5 メタンのヒノキ林内鉛直分布の連続観測	高橋けんし・小杉緑子・坂部綾香・金澤瑛(京大)
10:32-10:49	A-6 関東地方の単作水田におけるオゾンモニタリング	林健太郎1・皆巳幸也2・小野圭介1 常田岳志1・中村浩史3・長谷川利弘1 (1農環研, 2石川県大, 3太陽計器)
10:49-11:06	A-7 富士吉田アカマツ林のBVOCフラックスとBVOC由来二次有機エアロゾルの日変動	○望月智貴1・宮崎雄三2・小野かおり2 河村公隆2・中井裕一郎3・高梨聡3 和田龍一4・中野隆志5・塩澤竜志1・谷晃1 (1静岡県大, 2北大低温研, 3森林総研, 4帝京科大, 5山梨環境科学研)
11:06-11:23	A-8 アラスカクロトウヒ林上でのエアロゾルフラックスの測定	永野博彦1・岩田拓記2・林健太郎3 伏見暁洋4・原蘭芳信1 (1IARC, 2京大, 3農環研, 4国環研)

座長: 溝口康子(森林総研北海道支所)

13:00-13:17	A-9 火災跡地における熱帯泥炭の好氣的分解にともなうCO ₂ 排出量の評価	平野高司(北大)
13:17-13:34	A-10 陸域生物圏モデルBEAMSを用いた水田土壌からのメタンガス放出量の推定	仲井沙織1・佐々井崇博1・小野圭介2 (1名大, 2農環研)

座長: 増富 祐司(埼玉県環境科学国際センター)

13:34-13:51	A-11 生態系モデルを用いた気候傾度に沿う生態系水資源供給サービスの推定	近藤翔伍・町村尚・早田格・松井孝典(阪大院工)
13:51-14:08	A-12 世界の気象環境と食料輸出入のネットワーク解析	横沢正幸(農環研)
14:08-14:25	A-13 福島第一原子力発電所によるセシウム汚染地図の作成	沢野伸浩(金沢星稜大女子短大)

14:25-14:42

3月27日(水)B会場

時刻	座長: 嶋津光鑑(岐阜大学)	
B-1	明期時間と昼夜気温差がトマトの光合成特性および成育に及ぼす影響	松田 怜・小澤菜穂子・富士原和宏(東大)
B-2	微気象要素は植物の形態的・生理的変化を介してうどんこ病菌の生育に影響を及ぼすか?	板垣芳・渋谷俊夫・東條元昭・遠藤良輔 北宅善昭(大阪府大)
B-3	温室内の異なる栽植密度条件下におけるクリーニング作物の塩類吸収特性	安武大輔1・清川千明1・近藤圭介1 野見山綾介2・北野雅治2・山根信三1 前田守弘3・永禮英明3・藤原拓1 (1高知大, 2九大, 3岡山山)
B-4	TRNSYSを用いた温室環境シミュレーション	石神靖弘1・渡辺賢1・後藤英司1 奥島里美2 (1千葉大, 2農工研)

座長: 石神靖弘(千葉大学)

B-5	自然換気を併用する簡易設置型パッドアンドファン冷房を使用した温室内の微気象解析	嶋津光鑑1・杉本和広1・坂井田洋司2 (1岐阜大, 2揖斐川工業)
B-6	遠赤色光が少ないと個体群における植物成長は不均一になりやすい	高橋修司・渋谷俊夫・遠藤良輔・北宅善昭(大阪府大)
B-7	各種PVA(ポリビニルアルコール)の素材、割繊維不織布、スポンジの農業水産分野への利用について(その4)	山村敏夫(山村技術士事務所)
B-8	蒸発散量の非接触・リアルタイム・自動計測方法	奥島里美1・石井雅久1・海保昭2 ○高倉直3 (1農工研, 2グリテック, 3沖縄県農研セ)

座長: 安武大輔(高知大学)

B-9	屋上緑化用多孔質媒体内の熱・水分同時移動基礎実験	関平和・瀧上和矢・大島花織(金沢大)
B-10	エントロピー生成速度最大化(MEP)モデルによる表層土壌の熱慣性と地中伝熱量の推定	清澤秀樹・濱崎翼(三重大)
B-11	土壌の団粒構造に及ぼす低温・乾燥条件の室内実験	堀健人・鈴木純(信州大)

座長: 鈴木純(信州大学)

B-12	部分浅耕播種法を用いた水田転換畑におけるダイズ・コムギの適期播種シミュレーション	高田元気1・川村富輝1・北野雅治2 (1福岡県, 2九大)
B-13	簡易土壌水分計の指示値とカンキツの糖度との関係	黒瀬義孝(近中四農研)
B-14	重粘土転換畑圃場におけるブロッコリー一定植後の地下灌漑の効果	細野達夫・池田順一・大野智史・谷本岳 関正裕・鈴木克拓(中央農研)

3月28日(木) A会場

3月29日(金) A会場

時刻

座長:熊谷悦史(東北農研)

9:00-9:17	A-14 気温がイネの短日感応・穂分化に及ぼす影響	岡田益己・有賀秀陽・武氣壮平 小野寺孝治・庄野浩資・松島卯月 (岩手大)
9:17-9:34	A-15 少肥による群落微気象の変化はイネの穂温を上げる	吉本真由美・福岡峰彦・臼井靖浩 長谷川利弘(農環研)
9:34-9:51	A-16 高温に対するイネの稔実率の反応の品種特性	丸山篤志1・W.M.W. Weerakoon2 脇山恭行1・大場和彦3 (1九州沖縄農研・2スリランカ作物開発 研究所・3長崎総合科学大)
9:51-10:08	A-17 高温条件における北海道水稻品種の栽培特性について	根本学・濱寄孝弘(北海道農研)

座長:丸山篤志(九州農研)

10:15-10:32	A-18 北海道におけるイネの障害型冷害に関する感度分析	田中朱美・佐藤友徳・山中康裕(北大)
10:32-10:49	A-19 防霜対策時のチャ葉の熱収支の評価法に関する研究	北野雅治1・山本紘敬1・木下捷仁1 三好悠太1・松村直紀1・中園健太郎2 吉岡哲也2・久保田朗2・松尾喜義3 (1九大, 2福岡県, 3農研機構)
10:49-11:06	A-20 チャ葉の耐凍性適合溶質の消長と温度履歴との関係	木下捷仁1・山本紘敬1・江口壽彦1 圖師一文2・中園健太郎3・吉岡哲也3 久保田朗3・松尾喜義4・北野雅治1 (1九大, 2宮崎大, 3福岡県, 4農研機構)
11:06-11:23	A-21 根のイオン吸収モデルによる畑地の塩類動態の評価	野見山綾介1・高田元気2・安武大輔3 森牧人3・佐合悠貴4・田川堅太5 長裕幸5・王維真6・北野雅治1 (1九大, 2福岡県, 3高知大, 4豊橋技 科大, 5佐賀大, 6中国科学院)

時刻

座長:植山秀紀(近中四農研)

9:30-9:47	A-22 小笠原・沖縄の気象・気候と自然・農業・文化など	真木太一(筑波大・九大名誉教授)
9:47-10:04	A-23 「農耕地モニタリング地点」における近年の気温変動について	西森基貴・桑形恒男・石郷岡康史 *村上雅則(農環研, *現, (株)グロー バルオーシャンディベロップメント)
10:04-10:21	A-24 メッシュ農業気象データの利用環境構築	大野宏之○・佐々木華織・吉田ひろえ 中園江・中川博視(中央農研)
10:21-10:38	A-25 気象庁数値予報モデルGPVを利用した全天日射量分布の推定(2)ー大気透過率の検討ー	佐々木華織・大野宏之○・吉田ひろえ 中園江・中川博視(中央農研)

座長:西森基貴(農環研)

10:45-11:02	A-26 気象庁数値予報モデルによる傾斜果樹園地の気温予測	植山秀紀・星典弘・井上久義 根角博久(農研機構)
11:02-11:19	A-27 冬季十勝平野における気象庁予測気温と現地観測気温との比較	井上聡1・広田知良1・根本学1 矢崎友嗣1・岩田幸良1・前田修平2 宮脇祥一郎2・野津原昭二2 大澤和裕2 (1北海道農研, 2気象庁)
11:19-11:36	A-28 気象庁予報データを用いた土壌凍結深制御による野良イモ対策	広田知良1・根本学1・矢崎友嗣1 井上聡1・岩田幸良1・前田修平2 宮脇祥一郎2・野津原昭二2 大澤和裕2 (1北海道農研, 2気象庁)
11:36-11:53	A-29 全国版メッシュ気象システムに搭載する積雪モデルの検討	小南靖弘・大野宏之(中央農研)